

消費

2010年をプレイバック

2010年 熊本を盛り上げた

ヒット

したものの

話題

になったもの

2010年はどんな1年でしたか？
今年も残すところ、あとわずか。新たな年を
迎えるにあたって今年1年を振り返ってみませんか。
今回は2010年の熊本を盛り上げた、話題やヒット商品を取り上げてみました。



多くの来場者でにぎわう水前寺成趣園

名所復活へ、第1歩

水前寺成趣園「古今伝授の間」が復元

解体改修工事が進められていた水前寺成趣園の「古今伝授の間」が復元し、10月から一般公開。11月には県内の経済・文化団体でつくる「熊本城400年とルネッサンス」県民運動本部が中心となり、細川幽斎の没後400年と古今伝授の間の復元を記念して「水前寺まつり」が開かれました。2日間の期間中には約6万人超が来園。献茶式や熊本能、能、流鏝馬などの伝統行事のほか、夜には約7千本の竹灯籠を灯した「みずあかり」も実施され、多くの来場者を楽しませてくれました。



「水前寺まつり」では
流鏝馬などさまざまな
伝統行事などが行われた



夜には「みずあかり」も実施され、園内は幻想的な雰囲気に包まれた

熊本市中心街に新ブランド

下通に「ZARA」オープン

スペインのファッションブランド「ZARA」を運営する日本法人ザラ・ジャパンは11月、熊本市中心街の下通りアーケード内に熊本店をオープンしました。「ZARA」は流行を取り入れた手ごろな価格で販売する“ファストファッション”の人気ブランド店。同店では1～3階フロアで、紳士服、婦人服、子ども服や小物などを取り扱っており、オープン初日には早朝から約320人が列を作るなど、多くの来店客が訪れました。

下通りアーケード内に11月にオープンした「ZARA」



オリジナル米粉新商品発表・試食会

官民一体でオリジナル新商品を開発

熊本県産の米粉

県産米粉の普及拡大につなげようと官民一体でさまざまな新商品の開発が行われています。県では休耕田の解消、農商工連携推進の観点から、熊本製粉(株)と共同で米粉を活用した新商品を開発。また、米粉の製造技術の開発や技術提供などを通じて、パンや洋菓子、めん類などの原材料として消費者だけでなく食品業界などからも注目を集め、米粉を使ったオリジナル商品の開発や県内各地の飲食店などでも米粉を使った料理などが数多く登場するようになりました。今後も、米の新しい需要拡大に向けて、熱い視線が注がれています。



米粉を使ったさまざまなおもてなし料理が並んだ新商品発表・試食会

全国的ヒットと共に県内でも新商品が続々

「食べるラー油(食べる調味料)」

具だくさんの「食べるラー油」という斬新なコンセプトが受けて全国的なヒット商品になりました。09年から2010年にかけて、桃屋やエスピー食品などナショナルブランドの商品が相次ぎ発売され、ブームが急速に拡大。熊本でもさまざまな企業などで、オリジナル商品が発売されました。また、自家製の食べるラー油の作り方まで話題になったほか、食べる調味料という新しいジャンルも生まれるきっかけとなりました。



写真はイメージです

子どもたちにも人気の熊本代表キャラに
くまもとサプライズ!キャンペーンの
PRキャラクター「くまモン」

九州新幹線全線開業に向けた「くまもとサプライズ!キャンペーン」のPRキャラクターとして今年3月にデビュー以降、県内でもさまざまなイベントに登場し、子ども達にも人気のキャラクターに。現在、大阪でもさまざまなイベントに足を伸ばし、熊本県をPRしている。12月には「くまモン」の商業使用について民間事業者向け説明会が開かれ、約90人が参加。新たな商品化に向けて、今後も活躍の幅が広がりそうです。



熊本に初上陸、深夜の陸送など話題に
九州新幹線車両「さくら」

2011年3月の九州新幹線全線開業を前に今年7月、九州新幹線車両のN700系「さくら」が熊本に初上陸しました。熊本港に陸揚げされ、県道熊本港線一国道3号経由で熊本市富合町の熊本総合車両基地まで深夜の搬送が行われ、沿道には新幹線の搬入を一目見ようと多くの市民や鉄道ファンが詰めかけました。

